

3 - 4 . 報告書作成変更

- ・ 3 - 1でログインを行うと、分析結果報告書メニュー画面が表示されます。
- ・ 分析結果報告書メニューには、入力状態が表示されています。

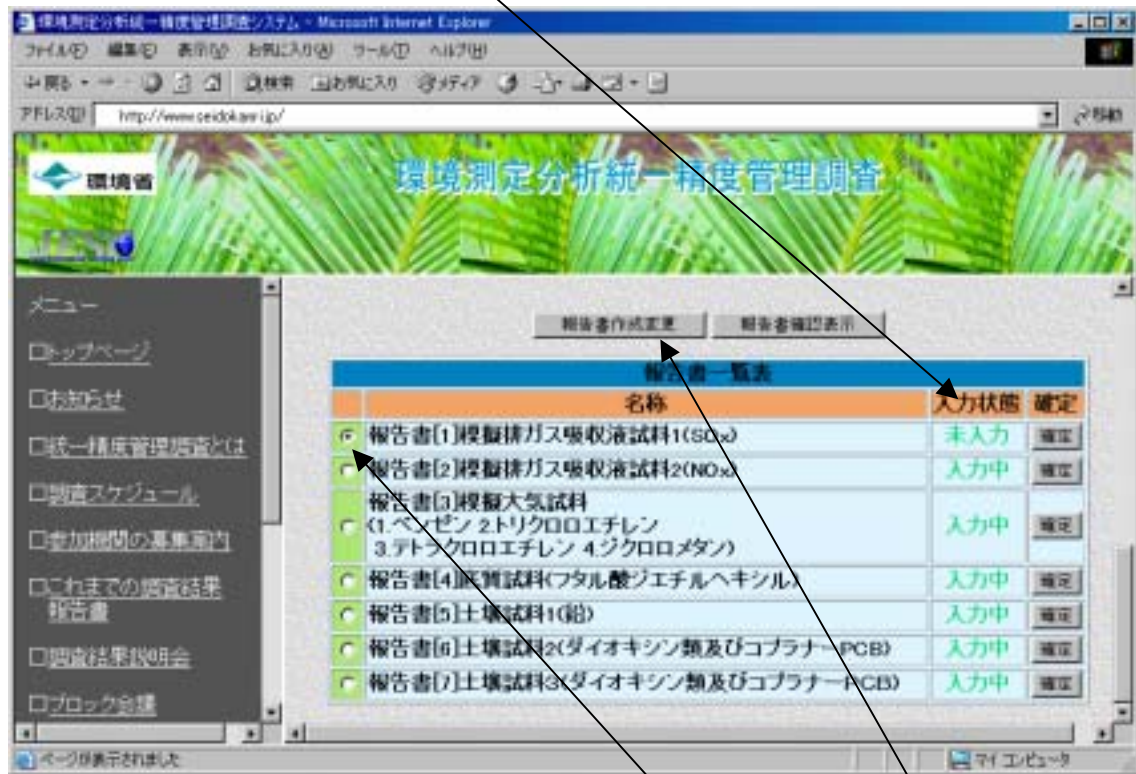


図 3-4.1 分析結果報告書メニュー画面 報告書一覧

- 「未入力」 : まだ入力が行われていない状態です。
- 「入力中」 : 入力が途中まで行われている状態（一時保存されている状態）です。
- 「確定」 : 入力が確定した状態（変更できない状態）です。

- ・ 分析結果報告書メニューから入力しようとする「分析結果報告書」を選択し、「報告書作成変更」をクリックすると別画面にて「報告書作成変更画面」が表示されます。

環境測定分析統一精度管理調査システム - Microsoft Internet Explorer

一時保存 前ページ 次ページ /2 ダイレクトジャンプ

報告書1のページ1を一時保存しました

分析結果報告書[1] 1/2

1. 模擬排ガス吸収液試料1 (SO_x)

TEL		
分析担当者の名		
分析担当者の経験年数		年
分析担当者の実績 (年間の分析試料数)		

測定回数	分析結果(mgSO ₂ /l 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。
分析試料(共通試料1-1)の中の濃度を記入する。濃度は、分析試料1リットルあたりの二酸化硫黄のミリグラム数(mgSO₂/l)として表記する。

注2) 3回の分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月	日
分析終了月日	月	日

分析方法: -未選択- その他の場合()

<注器測定法(アルセナゾ法)>

試料の分取量	ml
試料の濃定量 (5mmol/l酢酸バリウム溶液の量)	ml

図 3-4.2 分析結果報告書作成変更画面

・入力方法は、「2. 記入方法」に従って下さい。また、各分析結果報告書の共通事項を記します。

表 3-4.1 各分析結果報告書の共通事項

分析主担当者	全角入力。実際にその項目の分析を手がけた人の氏名（複数で分析を行った場合は主として実施した人の氏名とする。ただし、分析結果報告書 [6] [7] の土壌試料（ダイオキシン類及びコプラナー P C B ）については、「抽出」、「クリーンアップ」、「GC/MS分析」の操作ごとに手がけた人の氏名を記入する）。
分析主担当者の経験年数	数値（半角）入力。該当項目の分析業務経験年数（分析結果報告書 [6] [7] については、分析操作ごとに経験年数を記入する）。
分析主担当者の実績	数値（半角）入力。分析主担当者が昨年度 1 年間に分析を行った環境試料の該当項目のおよその試料数（分析結果報告書 [6] [7] については、分析操作ごとに試料数を記入する）。

・各分析結果報告書の入力項目の詳細は、「4 . 各報告書の詳細」を参照して下さい。

・操作ボタンについて

「一時保存」：現在入力中のページを一時保存します。

「前ページ」：前ページがある場合、現在入力中のページを一時保存し、前ページに移動します。

「次ページ」：次ページがある場合、現在入力中のページを一時保存し、次ページへ移動します。

「ダイレクトジャンプ」：現在入力中のページを一時保存し、指定したページ番号に移動します。

上記の操作を行うと、操作ボタンの下のメッセージエリアにアナウンスが表示されます。

・入力操作が終わりでしたら、一時保存を行った後に、ブラウザ右上の「x : 閉じる」ボタンをクリックし入力画面を閉じます。

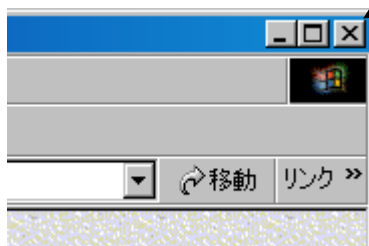


図 3-4.3 分析結果報告書作成変更画面 閉じる

- ・分析結果報告書メニュー画面の報告書一覧の入力状態が「入力中」と表示されます。

）入力の途中であったり、後で追加記入や修正を行う場合には、「一時保存」をすることができます。「一時保存」することによりデータベースに入力データが保存され、次回入力画面を開いた時には自動的にそのデータが読み込まれます。これにより、複数日にわたっての記入が可能です。「前ページ」「次ページ」「ダイレクトジャンプ」ボタンでページを移動するときには入力したデータが自動的に一時保存されますが、入力画面を閉じる際やコンピュータをシャットダウンする際などには自動的に一時保存はされません。また、入力画面を開いたまま、一時保存、前ページ、次ページ、ダイレクトジャンプ、ユーザ情報変更、パスワード変更など、サーバからデータを読み込むあるいは書き込む操作をせず 24 時間経過しますとサーバとの接続が切断され、自動的にログアウトされます。一時保存は入力中いつでも行えますので、ある程度データを入力なさった段階で、一時保存を行うようにして下さい。

提出期限を過ぎると入力できなくなります。

参加者専用ページへのログインは、1つの分析機関に対して複数人のログインが可能です。その際は一番最後に保存した人のデータが優先されて保存されますので注意して下さい。（例えば、機関に対して、3台のPCでAさん、Bさん、Cさんの3の方が同じ時間帯にログインして報告書の入力作業が行えます。Aさん、Bさん、Cさんの順番で保存処理を行った場合はCさんの入力内容が優先されて保存されます。）

3 - 5 . 報告書確認表示

・ 3 - 1でログインを行うと、分析結果報告書メニュー画面が表示されます。(図 3-4.1 参照して下さい。)

・ 分析結果報告書メニューから表示しようとする「分析結果報告書」を選択し、「報告書確認表示」をクリックすると別画面にて「報告書確認表示画面」が表示されます。

分析結果報告書[1] 1/2

1. 模擬排ガス吸収液試料1 (SOx)

TEL	000-123-4567
分析士担当部署	環境本部
分析士担当者の経験年数	10年
分析士担当者の室名 (所属の分析試料名)	100

測定結果	分析結果(SOx) (注1)	
	検出下限値以上 (注2)	検出下限値未満での検出下限値 (注3)
1項目	12345678901234567890	12345678901234567890
2項目	12345678901234567890	12345678901234567890
3項目	12345678901234567890	12345678901234567890

注1)一旦登録した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等には注意する。
分析試料(当該試料1-1)の中での濃度を記入する。濃度は、分析試料1リットルあたりの二酸化窒素のミリグラム数(SOx)の2/3として表記する。
注2)0種の分析結果の有効数字0種で記入する。
注3)有効数字1桁で記入する。

分析開始年月日: 01 月 01 日
 分析終了年月日: 01 月 01 日

分析方法: 6その他(その他の項目012456789012345678901234567890)

< 注釈測定法(アルミナ法) >

試料の分取量	12345678901234567890 ml
試料の測定量	12345678901234567890 ml
標準液の濃度(ナトリウム濃度の量)	12345678901234567890 ml
空試験の測定量	12345678901234567890 ml

< イオンクロマトグラフ法 >

試料の名称(名称標準)	正角検定 角検定(角検定) 123456789012345678901234567890
注入量	12345678901234567890 μl
試料の指示値	12345678901234567890
空試験の指示値	12345678901234567890
検量線の作成	
作成点数	12345678901234567890
作成範囲(濃度)	最小 12345678901234567890 mg-SOx 最大 12345678901234567890 mg-SOx
最高濃度の指示値	12345678901234567890
装置	1号装置1号機

図 3-5.1 分析結果報告書確認表示画面

・ 操作ボタンについて

「前ページ」: 前ページがある場合、前ページに移動します。

「次ページ」: 次ページがある場合、次ページへ移動します。

「ダイレクトジャンプ」: 指定したページ番号に移動します。

- ・各分析結果報告書の内容の確認が終了したら、ブラウザ右上の「x: 閉じる」ボタンをクリックして、分析結果報告書メニューへ戻ります。

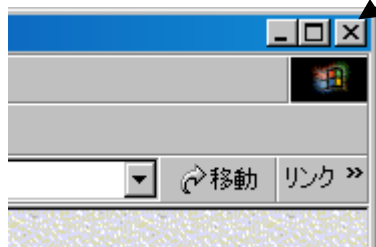


図 3-5.2 分析結果報告書確認表示画面 閉じる

- ・印刷について

各種分析結果報告書の印刷は、ブラウザの基本機能で実現されます。方法は、「3 - 6 . 報告書の印刷」を参照して下さい。